

質問者	通告 1 番	通告時間 6 0 分
	1 3 番 清水 豊司 議員	答弁者 町 長
質問事項	新町長の町政運営について問う	
要 旨	人口減少と高齢化の進行、グローバル経済の進展、I T 革命等技術革新の急速な進行は地域に大きな構造変化をもたらしている。また右肩上がりの経済は終り、自治体の財政運営を直撃していて、自治体は厳しい行財政運営が余儀なくされている。 一方、住民に身近な行政はできる限り地方公共団体が担い、その自主性を発揮すると共に、地域住民が地方行政に参画し協働していくことをめざす地方分権改革も進展している。 このような中、自治体の首長は、1 個の人格であるが、選挙で選ばれたことによって、その一身に民意を背負う。この公選・独任の首長の存在は地域と自治体の統合の核なのであり、地域経営者なのである。 大井町も昨年暮れに小田町長に代わり、地方自治法で示される首長の担任意務や議会との関係でなく、町政運営の姿勢として以下の質問をする。 1 地域経営者として首長（首長像を含め）はどうあるべきか。 2 地方分権が進む中「政策立案」をどのように考えるか。 3 首長として「説明責任の確保」考え方は。 4 地方分権が進む中での「広域連携」をどのように考えるか。	